

当院から往診を受けた方へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に使用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

往診時のポイントオブケア超音波による判断の妥当性

【研究目的】

超音波が往診時の判断にどの程度影響を及ぼすかを調査します。

【対象となる方】

2017年8月から2024年2月までの往診時に超音波をおこなった患者さまです。

【調査データ 都該当期間】

2017年8月から2024年2月までの往診時の情報を調査対象とします。

【研究の背景】

在宅医療には、訪問診療と往診があります。往診では新たな病態を把握した上で、在宅治療を継続するか、病院に紹介し精査加療するか判断することが求められます。元々通院が困難な患者さまの紹介は、ご本人やご家族にとり大きな負担となります。しかし在宅のまま不十分な治療をして不幸な転帰を招くことも許されません。そこで往診の現場で、従来の視触診・打聴診に加えて、現場での（ポイントオブケア）超音波を行い判断し、今回、その判断が妥当であったか検討します。適切に判断できていれば、ご本人やご家族への負担を軽減するとともに、医療経済的な効果も見込まれます。

【研究の方法】

● 利用する情報

電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。※他機関への情報提供はしません。

● 個人情報の取り扱い

利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除いたします。

また、研究成果は学会、医学誌等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

● 本研究の資金源（利益相反）

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

【当院の研究責任者（所属）】

内科医 水間 美宏

【お問い合わせ先】

電話：078-841-5731(代) 担当者：水間 美宏